



## 「みんなちがって みんなよかった」 1学期

校長 下川床 光浩

私は、今日の勉強でたくさんを知ることができました。あわっこで一生懸命夢に向かって勉強していることや、私たちのサポートも必要だということも知ることができました。たまたま、言うことを聞いてくれない下級生もいるけど、みんな本当に頑張っているんだなと思いました。

私は、これからも6年生として下級生をサポートして、みんなが安心して学校に来られるようにしたいです。あわっこはとても大切なところなんだなと思いました。

「55人の栗っ子たち」みんなそれぞれ違う個性をもっています。その個性や特性の現れ方も子ども一人一人によってさまざまです。

学校教育法の一部改正により、平成19年4月から、これまでの「特殊教育」に変わり「特別支援教育」がスタートしました。特別支援教育は、特殊でも特別な教育でもありません。自分が小学生のころ「特殊教育」は、何か特別な場（例えば特別教室の一角など）で行われていた記憶があります。

ところが、特別支援教育となってからその方向性が大きく変わりました。どのクラスにも読み書きが苦手な子、聴くことが苦手な子、いつもぼーっとしている子、急にパニックを起こす子、友達とうまくいかない子など、ちょっと気になる子がいると思います。支援学級、通常学級関係なく、全ての子どもに、一人一人にあった支援方法を考え実行していくことが特別支援教育の基本的な考え方です。

そのような考え方に立って、今年度4月から粟ヶ窪小にも支援学級「あわっこ」が誕生しました。

そこで、子どもたちにもその意義を分かってもらおうと、あわっこ担任の武先生が2～6年全ての学級で「あわっこ学級についての学習」の時間を実施しました。※武先生の「あわっこ便り」を要約しました。

まず初めに「あわっこ学級はどんな人たちの教室ですか？」という質問をしました。「勉強が苦手な人」「みんなと同じようにするのが苦手な人」「心や体に障害がある人」と予想通りの答えでした。

次に、具体的にどんな困り感があるのか知らせるために、子どもたちにNHKの特別支援学級を紹介する番組を見せました。緊張して人前で話せない人、時々イライラして一人になりたい人、順序良く行動できない人たちが登場してきて、それぞれの特性に合ったサポートを受けながら楽しく生活している様子が紹介されました。映像を見ていた子どもたちからは、「私と同じ!」「ぼくも!」というつぶやきも聞こえてきました。あわっこ学級も同じで、特別でも何でもなく、苦手なことを周りがサポートしながら楽しく学習する教室であることを確認しました。

終わりに、『みんなが、自分の苦手なことに向き合いながら、夢に向かって頑張っている。そのために、先生や家族や地域の方々、そして友だち同士がサポートし合うことが必要。だからこれからもあわっこの子も、みんながサポートできる学校にしていこう。』という言葉で締めくくりました。

そして学習後に6年生の子どもが書いてくれたのが、冒頭に紹介した感想です。

55人分の個性があります。その一人一人の個性、困り感に寄り添った支援（サポート）をお互いが心掛ける。そのことが学校全体の「思いやりの心」の育成に繋がっていきます。「みんなちがって みんなよかった」1学期になったかなと振り返りながら、元気で楽しい夏休みになるようにと願うことです。

## 校内水泳大会～がんばる姿に感動～(7/13)

今年度は、感染症対策をしっかりと行い、保護者の皆様の応援の中、校内水泳大会を実施することができました。子どもたちは、これまでの水泳学習の成果を100%出し切ろうと、一生懸命泳いでいました。特に5・6年生は、市の水泳記録会も兼ねており、自分の目標タイムに向けて全力で泳ぎました。今であまり泳げなかった子が、練習する度に泳げるようになりました。大会当日も最後まで諦めずに泳ぐ姿に感動することでした。子どもたちが、目標を達成したときの喜びの表情は、とても輝いており、なんとも言えない素晴らしいものです。



【5・6年生のリレーの様子】

## 着衣水泳～命を守るにはどうすればいいか～(7/15)

着衣水泳を低・中・高学年別に行いました。「もし、海や川に落ちてしまったらどうしますか？」の問いに、子どもたちは真剣に考えていました。まずは、水に浮く体験をしました。力を抜くと自然に身体が浮きました。服や靴にも浮く力があることを学んだようです。また、ペットボトルなど水に浮く物があると楽に身体を浮かすことができることを実感したようです。もし、友達が溺れたからと言って1人で助けに行かないで、浮く物を投げてつかまらせたり、大人の助けを呼んだりして、自分の命も友達の命も大切にすることを学びました。



【上手に水に浮かぶ4年生】

## 食に関する授業～感謝していただきます。～(7/16)

南九州市栄養教諭の久保奈美子先生をお招きして、1年生に「食に関する授業」をしていただきました。私たちが食べている給食は、農家の人や給食センターの人等たくさんの方のおかげで、おいしい給食をいただいていることを学びました。実際に給食センターで給食を作っている様子を動画で見て、子どもたちは、鍋やしやもじの大きさにびっくりすると共に、「いただきます」「ごちそうさま」と感謝することを学ぶことができました。



【栄養教諭の久保先生】

### 【お知らせ・お願い】

#### 【夏休みの主な行事予定】

- 7月21日 教育相談旬間 ～31日
- 22日 海の日
- 23日 スポーツの日
- 8月 2日 登校日
- 8日 山の日
- 13日 学校閉庁日～15日
- 20日 出校日
- 22日 PTA愛校作業

7月18日(日)は、PTAの資源回収を行いました。各自治会の子ども育成会やPTAの生活環境部の皆様のご協力のおかげでたくさんのビンや空き缶、段ボール等の紙類を回収することができました。各自治会の皆様いつも、粟ヶ窪小学校の子どもたちの為にご協力いただき、ありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

